

令和5年度

## 出前講座の利用案内

指導主事が研修講座で用いる資料を活用し、県内の学校や教育研究団体等での研修に対する支援を行います。



長崎県教育センター

# 「出前講座」実施要項

## 1 目 的

長崎県教育センターによる出前講座（以下「出前講座」という。）は、県内の各市町教育委員会及び各県立学校、教育研究団体等との連携・協力のもと、教育センターの人的資源や研修講座等にかかる実績を活用して、市町教育委員会の研修、公立学校の校内研修及び教育研究団体等の活動への個別的・具体的支援を行う。

## 2 対 象

市町教育委員会、公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園、公立小・中・義務教育学校、公立高等学校（県立中学校を含む）、公立特別支援学校、教育研究団体等（以下「市町、学校等」という。）

## 3 方 法

「出前講座」を希望する市町、学校等に対し、原則オンラインで教育センター職員が講座を開設する。

## 4 内 容

「出前講座の利用案内（出前講座一覧）」参照

## 5 費用の負担

- (1) 会場借り上げ等の費用が発生する場合は依頼元負担、受講者に旅費が生じる場合については学校配当予算等による執行とする。
- (2) オンラインではなく教育センターの職員の派遣による「出前講座」となった場合の派遣に係る費用は、教育センター負担とする。

## 6 実施要件

- (1) オンラインによる講座を原則とし、教職員を対象とすること。
  - (2) おおむね 10 名以上の参加者があること。（近隣校などへの積極的な呼びかけ）
  - (3) 講座全体で 90 分以上であることを原則とする（「研修報告・振り返り」を記入する時間（15 分程度）を含む）。実施時間の目安については出前講座の利用案内参照のこと。
  - (4) 「講義」「研究協議」「演習」などから、二つ以上の柱立てを設けることを原則とする。
  - (5) 実施期間は原則として、6 月 23 日から 1 月 31 日までの平日とする。
  - (6) 時間帯は午前 9 時から午後 5 時までの間とする。
  - (7) オンラインによる講座の実施を原則とするため、「オンライン研修用チェックリスト」（P. 16）についても申込と同時にメールで送信する。
- ※（1）～（5）の実施要件を満たさない場合には、別途「研究援助」で対応を検討する。

## 7 留意事項

- (1) 同一学校等での実施は、年1回を原則とする。研修効果の高まりが期待できる講座については、研究援助と組み合わせた対応も可とする。なお、同一市町における実施回数は調整をお願いすることもある。  
※研究援助と組み合わせた複数回実施の有無については、出前講座の利用案内を参照
- (2) 同一の内容で毎年度依頼がある学校等には、実施内容の見直しをお願いする。
- (3) 学校単位で実施する際は、近隣校からの受講者の参加についても可能な限り考慮する。更に広く参加者を募ることが望ましいと考えられる場合は、市町教育委員会等と協議の上、地域等を単位とする講座としての実施を検討する。
- (4) 実施にあたり、出前講座の趣旨や研修内容の概要等に沿った充実した研修となるよう、依頼元は教職員の共通理解を図っておく（事前提出資料や事前動画の視聴を求めることもある）。
- (5) 出前講座の実施による成果を更に高めるため、関連するセンター研修講座を受講するなど、研修の継続について考慮する。
- (6) 自然災害や荒天の対応については、「特別警報および避難勧告等発令時の対応」に準じる。

## 8 申込み

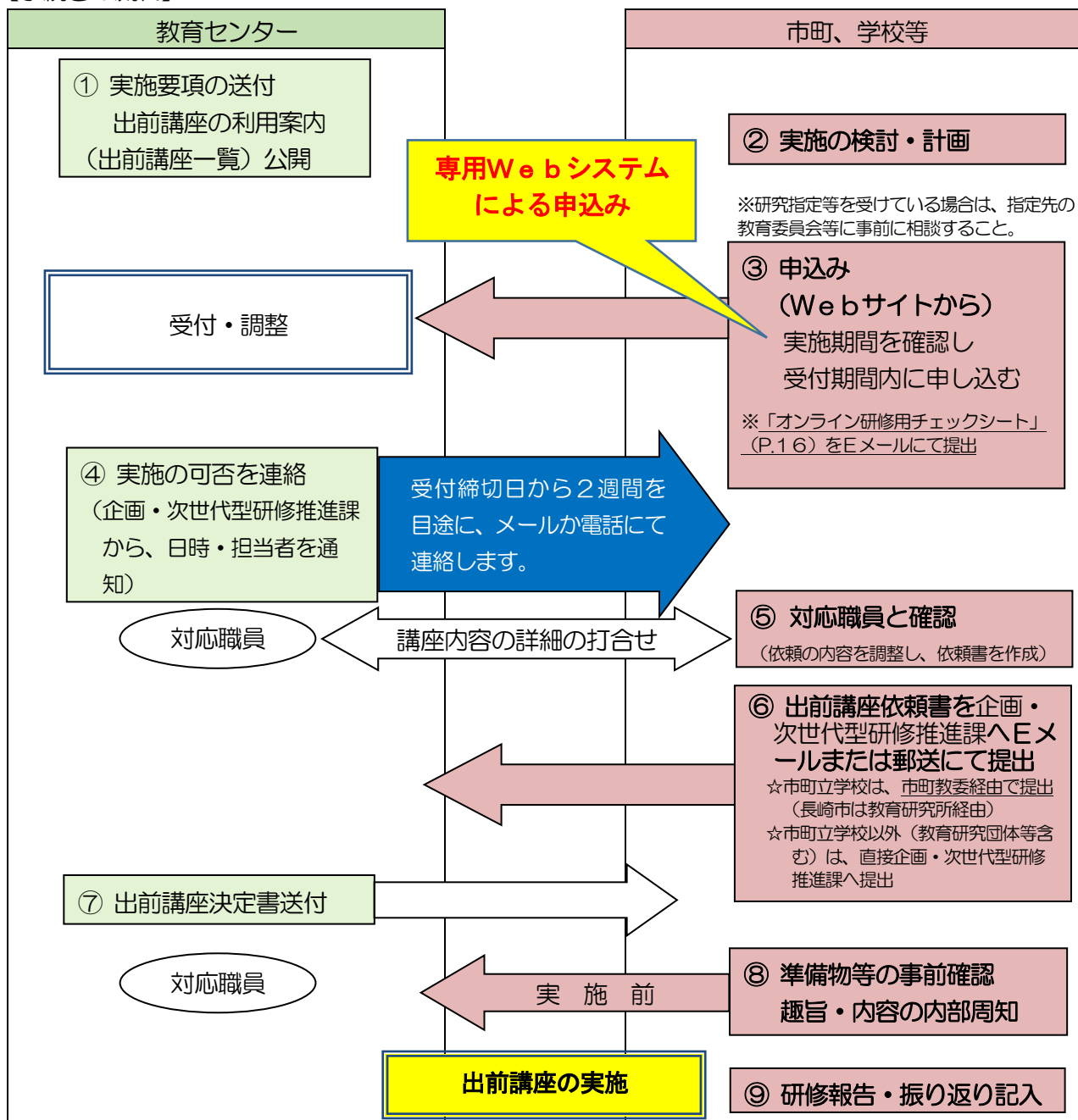
- (1) 下記の受付期間を原則とする。

	実施期間	申込み受付期間	決定までの動き
I 期	6月23日（金）～ 7月28日（金）まで	4月14日（金）～ 5月12日（金）	1) 出前講座の受付・調整 2) 企画・次世代型研修推進課から依頼元に決定通知 3) 依頼元と対応職員の打合せ 4) 依頼書の提出（受理後決定書送付）
II 期	8月1日（火）～ 10月27日（金）まで	5月19日（金）～ 6月14日（水）	
III 期	11月1日（水）～ 1月31日（水）まで	8月16日（水）～ 9月14日（木）	

- (2) 申込み方法  
専用Webシステムにより申し込む。

## 手続きの流れ

### 【手続きの流れ】



※申込みは、必ず所属長等の了解を得て行ってください。

### (3) 問い合わせ先

企画・次世代型研修推進課総合企画班 (Tel0957-53-1186)

出前講座依頼書送付Eメールアドレス：[S403502@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:S403502@pref.nagasaki.lg.jp) (1は「エル」)

9 別紙様式（依頼書は、Webサイトからダウンロードできます）

※提出先：教育センター 企画・次世代型研修推進課

提出方法：電子メール送信（アドレス：[S403502@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:S403502@pref.nagasaki.lg.jp)）

（「」は「エル」）

**注意** 市町立学校は、市町教委経由で提出してください。（長崎市は教育研究所経由）

※県立学校の場合は、下線部分は削除してください。

文 書 番 号  
令和 年 月 日

長崎県教育センター所長 様

〇〇市(町)立〇〇学校

(△△市△△教育研究会△△科部長等)

(公印省略)

長崎県教育センター「出前講座」依頼書

下記のとおり、長崎県教育センターによる「出前講座」を依頼します。

記

日時	令和 年 月 日 ( ) : ~ :		
受講場所	※オンライン研修を受講する場所	参加予定人数	
講座内容の要望			
メニュー番号	( ) ※利用案内P〇-〇〇を参照		
日程及び内容	【出前講座日程及び内容等】		
備考			

# 【記入例】

文 書 番 号  
令和 年 月 日

長崎県教育センター所長 様

〇〇市(町)立〇〇学校長  
(△△市△△教育研究会△△科部長等)  
(公印省略)

長崎県教育センター「出前講座」依頼書

下記のとおり、長崎県教育センターによる「出前講座」を依頼します。

## 記

日 時	令和●年●●月●●日(●)●●:●●~●●:●●		
受講場所	本校図書室等	参加予定人数	●●名
講座内容の 要望	※ 講座内容の要望を簡潔に、御入力ください。		
メニュー番号	( 小ー14 ) ※利用案内P8-15参照		
日程 及び 内容	【出前講座日程及び内容等】 ※電話相談・打合せに基づき、時系列に沿って御記入ください。 【例】 13:30 はじめに(校長あいさつ等) 13:35 講 義 〇〇における〇〇の在り方 14:20 演 習 〇〇からみた課題分析とその改善 (研究協議 〇〇に対応した授業改善について) 15:05 振り返り 「研修報告・振り返り」の記入 15:20 おわりに		
備 考	※別記しておいた方がよい事柄 【例】〇講座参加者は、会場校の教職員及び近隣校からの参加者△△名を含む。 〇研修報告・振り返りを集約する時間を設定することが困難であるため、 後日△△課◇◇班に送付することを了承していただきたい。		

## 研修報告・振り返り（オンライン対応の講座の場合）

### 研修報告・振り返り

以下のことについて、研修報告として回答してください。なお、報告内容は、研修成果の還元という観点から必要に応じて活用させていただきます。 ※必須

1. 該当する校種等について、次から選んでください。※

幼稚園等

小学校

中学校

高等学校

特別支援学校

行政機関等

その他（ ）

2. 所属する学校名を記入してください。※

（ ）

3. 該当する校種等について、次から選んでください。※

校長

副校長

教頭

主幹教諭

指導教諭

教諭

実習教諭

養護教諭

栄養教諭

講師

その他（ ）

4. 氏名を記入してください。※

（ ）

5. 該当する経年研修について、次から選んでください。※

若手研

若手第2研

中堅研

該当なし

### 研修講座について

以下の研修内容について、次のア～エからあてはまる記号を選んでください。なお、オンラインを活用して実施した研修内容の回答には、通信環境や接続状況等を含みません。

ア. 参考になった

イ. どちらかと言えば参考になった

ウ. どちらかと言えば参考にならなかった

エ. 参考にならなかった

6. 研究協議「○○○○○○○○」※

ア

イ

ウ

エ

7. 講義「○○○○○○○○」※

ア

イ

ウ

エ

8. 講義・演習「○○○○○○○○」※

ア

イ

ウ

エ

9. 演習「○○○○○○○○」※

ア

イ

ウ

エ

10. 実践発表「○○○○○○○○」※

ア

イ

ウ

エ

11. 研修講座がよりよいものになりますように、上記評価の理由や気づき、感想などを記入してください。※

（ ）

### 「自己の振り返り」について

12. 本研修講座を受講して、自己評価（今後の資質向上への取組意欲）を行ってください。自らの資質向上という観点から、次のア～エからあてはまる記号を選んでください。※

ア. 向上した

イ. どちらかと言えば向上した

ウ. どちらかと言えば向上しなかった

エ. 向上しなかった

ア

イ

ウ

エ

13. 上記の理由を入力してください。※

（ ）

14. 本研修講座を終えて、今後実践したいと考えていることを御入力ください。※

（ ）



(オンライン対応不可の講座の場合)

出前講座〇〇 ○〇〇〇〇

研修報告・振り返り

下記のことについて、研修報告としてまとめてください。なお、報告内容は、研修成果の還元という観点から必要に応じて活用させていただきます。

学校名：	職・氏名
------	------

(1) 研修講座について

項 目		研修内容についてあてはまる記号に○をつけてください。				
I	1 日 目	講義・演習	ア. 参考になった	イ. どちらかと言えば参考になった	ウ. どちらかと言えば参考にならなかった	エ. 参考にならなかった
		研究協議	ア. 参考になった	イ. どちらかと言えば参考になった	ウ. どちらかと言えば参考にならなかった	エ. 参考にならなかった
		演 習	ア. 役に立った	イ. どちらかと言えば役に立った	ウ. どちらかと言えば役に立たなかった	エ. 役に立たなかった

研修講座がよりよいものになりますように、上記評価の理由や気づき、感想などを御記入ください。


(2) 「自己の振り返り」について

項 目	自らの資質向上という観点からあてはまる記号に○をつけてください。				
II 自己評価（今後の資質向上への取組意欲）	ア. 向上した	イ. どちらかと言えば向上した	ウ. どちらかと言えば向上しなかった	エ. 向上しなかった	

<理由>


本研修講座を終えて、今後実践したいと考えていることを御記入ください。




# 出前講座メニュー

- ◇幼稚園・こども園対象メニュー 9ページ
- ◇小学校対象メニュー 10～11ページ
- ◇中学校対象メニュー 12～13ページ
- ◇高等学校対象メニュー 14ページ
- ◇特別支援学校対象メニュー 15ページ

## 【出前メニュー表の見方】

※所要時間については目安を示しています。詳しくは御相談ください。

番号	分野	関連する指標	講義	研究協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助との組合せ
			時間の目安						
小-1	特別支援教育	教 MO	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と活用			○
			90分～120分			～具体的な作成の方法と効果的な活用の仕方を中心に～			
小-2	特別支援教育	教 INO	○	○	○	特別支援学級及び通級指導教室における指導の在り方			○
			90分～120分			～教科等の指導や学級・教室経営（交流及び共同学習）を中心に～			
小-3	特別支援教育	教 IMD	○	○	○	自立活動の指導の在り方			○
			90分～120分			～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を中心に～			

専用Webシステムによる申込みの際に必要です。

依頼元の御要望で、以下の対応が可能です。

- ☆ICT活用  
教科等の中で1人1台端末を効果的に活用した内容への対応
- ☆対面実施  
研修会場で教育センター所員が講座に対応
- ☆研究援助との組合せ  
研修効果を高めるために継続的な支援が必要な場合、研究援助と組み合わせた複数回実施

※その他の御要望やお問い合わせは、御電話にて御連絡ください。  
企画・次世代型研修推進課：0957-53-1186

## 【幼稚園・幼保連携型認定こども園】

依頼元の御要望で、以下の対応が可能です。

### ICT 活用

教科等の中で1人1台端末を効果的に活用した内容への対応

### 対面実施

研修会場で教育センター所員が講座に対応

### 研究援助との組合せ

研修効果を高めるために継続的な支援が必要な場合、研究援助と組み合わせた複数回実施

※所要時間については目安を示しています。詳しくは御相談ください。

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助との組合せ
		時間の目安						
幼-1	特別支援教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個別の教育支援計画の作成と活用			<input type="radio"/>
		90分～120分			～具体的な作成の方法と効果的な活用の仕方を中心に～			
幼-2	特別支援教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	発達障害等特別な教育的支援を必要とする児童生徒への具体的支援		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		90分～120分			～事例研究を通してこれまでの指導・支援を見直そう～			
幼-3	特別支援教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	特別な支援を必要とする子供を支える保護者との連携・協働の在り方			<input type="radio"/>
		90分～120分			～「見守りシート」の活用の実際と校内支援体制づくり～			
幼-4	特別支援教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	地域における障害のある幼児児童生徒の支援体制の構築			<input type="radio"/>
		90分～120分			～センター的機能や特別支援教育コーディネーター連絡協議会の充実を目指して～			
幼-5	特別支援教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	特別な支援を必要とする幼児への支援の在り方		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		90分～120分			～幼児期の子供の気になる行動の理解と対応を中心に～			
幼-6	教育相談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支持的風土に包まれた望ましい人間関係づくり（児童生徒・保護者）		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		90分			～教育相談技法の理解と指導を通して～			
幼-7	人権教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	子供とつながる・子供がつながる人権教育			<input type="radio"/>
		90分～120分			～人権感覚を高める体験的な学習を通して～			
幼-8	図画工作	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	造形的な見方・考え方を働かせる図画工作科の授業づくり			<input type="radio"/>
		90分～180分			～深い学びへつなげる授業とは！？～			

## 【小学校】

依頼元の御要望で、以下の対応が可能です。

### ICT 活用

教科等の中で1人1台端末を効果的に活用した内容への対応

### 対面実施

研修会場で教育センター所員が講座に対応

### 研究援助との組合せ

研修効果を高めるために継続的な支援が必要な場合、研究援助と組み合わせた複数回実施

※所要時間については目安を示しています。詳しくは御相談ください。

番号	分野	関連する 指標	講義	研究 協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助 との組合せ
			時間の目安						
小-1	特別支援 教育	教 MO	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と活用			○
			90分～120分			～具体的な作成の方法と効果的な活用の仕方を中心に～			
小-2	特別支援 教育	教 IKO	○	○	○	特別支援学級及び通級指導教室における指導の在り方			○
			90分～120分			～教科等の指導や学級・教室経営（交流及び共同学習）を中心に～			
小-3	特別支援 教育	教 IMO	○	○	○	自立活動の指導の在り方			○
			90分～120分			～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を中心に～			
小-4	特別支援 教育	教養 LMO IJM	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする児童生徒への具体的支援		○	○
			90分～120分			～事例研究を通してこれまでの指導・支援を見直そう～			
小-5	特別支援 教育	教養 EFO EFM	○	○	○	特別な支援を必要とする子供を支える保護者との連携・協働の在り方			○
			90分～120分			～「見守りシート」の活用の実際と校内支援体制づくり～			
小-6	特別支援 教育	教養 FLO FJM	○	○	○	地域における障害のある幼児児童生徒の支援体制の構築			○
			90分～120分			～センター的機能や特別支援教育コーディネーター連絡協議会の充実を目指して～			
小-7	教育相談	教養 CLM CJ CM	○		○	支持的風土に包まれた望ましい人間関係づくり（児童生徒・保護者）（指標 教諭等CLM、養護教諭CJ、栄養教諭CM）		○	○
			90分			～教育相談技法の理解と指導を通して～			
小-8	道徳科	教 HJK	○	○	○	「特別の教科 道徳」の授業づくり（指標：H、J、K）		○	○
			90分			～授業研究を通して、子どもが考え、伝え合う授業をめざす～			
小-9	人権教育	教 ACKL	○			子供とつながる・子供がつながる人権教育（指標：A、C、K、L）			○
			90分～120分			～人権感覚を高める体験的な学習を通して～			
小-10	人権教育	教 A	○		○	多様性を尊重する人権教育			○
			90分～120分			～学校における男女共同参画について考えよう [指標との関連] A～			
小-11	アクティブ・ ラーニング	教 IJ	○	○	○	見方・考え方を働かせ教科の本質に迫る授業づくり（指標：I、J）			○
			90分～120分			～授業づくりにおける教師の働き掛けを考える～			

番号	分野	関連する 指標	講義	研究 協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助 との組合せ
			時間の目安						
小-12	カリキュラム・マネジメント	教 EFI 校長等EK	○		○	カリキュラム・マネジメントの確立に向けて（指標：教諭等：E、F、I 校長等：E、K） ～三つの側面から「つなぐ」教育活動～			○
小-13	複式教育	教 HIJKP	○	○	○	複式授業づくりの基礎・基本 [指標との関連] H I J K P ～子供が主体的に学ぶ複式授業の在り方とは？～	○		○
小-14	国語	教 HIJ	○	○	○	言葉による見方・考え方を働かせる小学校国語科の授業づくり [指標との関連] H I J ～質の高い言語活動を通して資質・能力を育てよう～			○
小-15	社会	教 HIJP	○	○	○	公民としての資質・能力を育む社会科の授業づくり（指標：H、I、J、P） ～社会的な見方・考え方を働かせる授業とは！？～	○		○
小-16	算数	教 HIJ	○	○	○	数学的に考える資質・能力を育む小学校算数科授業づくり [指標との関連] H I J ～深い学びにつなげる単元構想と授業展開～			○
小-17	理科	教 HIJ	○	○	○	問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む小学校理科の授業づくり ～子供が見方・考え方を働かせる理科の学びとは！？【関連する指標：H I J】～			○
小-18	図画工作	教 HIJ	○	○	○	造形的な見方・考え方を働かせる図画工作科の授業づくり ～深い学びへつなげる授業とは！？【関連する指標 小学校教諭 HIJ】～			○
小-19	外国語教育	教 HIJ	○	○	○	小学校外国語教育の授業づくり（指標：H、I、J） ～言語活動を充実させるための単元構想と授業展開～			○
小-20	音楽	教 HJP	○	○	○	主体的・創造的な活動を目指す音楽科・芸術科（音楽）の授業の在り方 ～育成する資質・能力を明確にした授業の実践～	○		○
小-21	家庭	教 HIJPQ	○		○	生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育む小学校家庭科の授業づくり ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導力向上を目指して～	○		○
小-22	キャリア教育	教 N	○	○	○	キャリア教育 ～「キャリア教育をどう進めればいいのか？」という声に応えます～			

## 【中学校】

依頼元の御要望で、以下の対応が可能です。

### ICT 活用

教科等の中で1人1台端末を効果的に活用した内容への対応

### 対面実施

研修会場で教育センター所員が講座に対応

### 研究援助との組合せ

研修効果を高めるために継続的な支援が必要な場合、研究援助と組み合わせた複数回実施

※所要時間については目安を示しています。詳しくは御相談ください。

番号	分野	関連する 指標	講義	研究 協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助 との組合せ
			時間の目安						
中-1	特別支援 教育	教 MO	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と活用			○
			90分～120分			～具体的な作成の方法と効果的な活用の仕方を中心に～			
中-2	特別支援 教育	教 IKO	○	○	○	特別支援学級及び通級指導教室における指導の在り方			○
			90分～120分			～教科等の指導や学級・教室経営（交流及び共同学習）を中心に～			
中-3	特別支援 教育	教 IMO	○	○	○	自立活動の指導の在り方			○
			90分～120分			～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を中心に～			
中-4	特別支援 教育	教養 LMO IJM	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする児童生徒への具体的支援		○	○
			90分～120分			～事例研究を通してこれまでの指導・支援を見直そう～			
中-5	特別支援 教育	教養 EFO EFM	○	○	○	特別な支援を必要とする子供を支える保護者との連携・協働の在り方			○
			90分～120分			～「見守りシート」の活用の実際と校内支援体制づくり～			
中-6	特別支援 教育	教養 FLO FJM	○	○	○	地域における障害のある幼児児童生徒の支援体制の構築			○
			90分～120分			～センター的機能や特別支援教育コーディネーター連絡協議会の充実を目指して～			
中-7	教育相談	教養 CLM CJ CM	○		○	支持的風土に包まれた望ましい人間関係づくり		○	○
			90分			～教育相談技法の理解と指導を通して～			
中-8	道徳科	教 HJK	○	○	○	「特別の教科 道徳」の授業づくり		○	○
			90分			～授業研究を通して、子どもが考え、伝え合う授業をめざす～			
中-9	技術・家庭 (技術分野)	教 HIJPK	○		○	多様な学びに対応した技術・家庭科（技術分野）の授業づくり	○		
			90分～120分			～1人1台端末の効果的な活用を通して～			
中-10	人権教育	教 ACKL	○			子供とつながる・子供がつながる人権教育			○
			90分～120分			～人権感覚を高める体験的な学習を通して～			

番号	分野	関連する 指標	講義	研究 協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助 との組合せ
			時間の目安						
中-11	人権教育	教 A	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	多様性を尊重する人権教育			○
			90分～120分			～学校における男女共同参画について考えよう～			
中-12	アクティブ・ ラーニング	教 IJ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	見方・考え方を働かせ教科の本質に迫る授業づくり			○
			90分～120分			～授業づくりにおける教師の働き掛けを考える～			
中-13	カリキュラム・マネジ メント	教 EFI 校 EK	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	カリキュラム・マネジメントの確立に向けて			○
			90分～120分			～三つの側面から「つなぐ」教育活動～			
中-14	国語	教 HIJ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	言葉による見方・考え方を働かせる中学校国語科の授業づくり			○
			90分～120分			～質の高い言語活動を通して資質・能力を育てよう～			
中-15	社会	教 HIJP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	公民としての資質・能力を育む社会科の授業づくり	○		○
			90分～120分			～社会的な見方・考え方を働かせる授業とは！？～			
中-16	数学	教 HIJ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	数学的に考える資質・能力を育む授業づくり			○
			90分～120分			～数学的な見方・考え方を働かせる授業とは？～			
中-17	理科	教 HIJP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	科学的に探究するために必要な資質・能力を育む中学校理科の授業づくり	○		○
			90分～120分			～子供が見方・考え方を働かせる理科の学びとは！？～			
中-18	美術	教 HIJ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	造形的な見方・考え方を働かせる美術科の授業づくり			○
			90分～180分			～深い学びにつなげる授業とは！？～			
中-19	音楽	教 HJP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	主体的・創造的な活動を目指す音楽科・芸術科（音楽）の授業の在り方	○		○
			90分～150分			～育成する資質・能力を明確にした授業の実践～			
中-20	技術・家庭 (家庭分野)	教 HIJPQ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	生活を工夫し創造する資質・能力を育む中学校技術・家庭科（家庭分野）の授業づくり	○		○
			90分～120分			～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導力向上を目指して～			
中-21	外国語	教 HIJPQ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	「コミュニケーションを図る資質・能力」を育成する授業づくり	○		○
			90分～120分			～子供の「やりたい！」を引き出すしかけ～			
中-22	キャリア教育	教 N	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	キャリア教育			
			90分～120分			～「キャリア教育をどう進めればいいのか」という声に応えます～			

## 【高等学校】

依頼元の御要望で、以下の対応が可能です。

### ICT 活用

教科等の中で1人1台端末を効果的に活用した内容への対応

### 対面実施

研修会場で教育センター所員が講座に対応

### 研究援助との組合せ

研修効果を高めるために継続的な支援が必要な場合、研究援助と組み合わせた複数回実施

※所要時間については目安を示しています。詳しくは御相談ください。

番号	分野	関連する 指標	講義	研究 協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助 との組合せ
			時間の目安						
高-1	特別支援 教育	教 MO	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個別の教育支援計画の作成と活用 ～具体的な作成の方法と効果的な活用の仕方を中心に～			○
			90分～120分						
高-2	特別支援 教育	教 IKO	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	特別支援学級及び通級指導教室における指導の在り方 ～教科等の指導や学級・教室経営（交流及び共同学習）を中心に～			○
			90分～120分						
高-3	特別支援 教育	教 IMO	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自立活動の指導の在り方 ～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を中心に～			○
			90分～120分						
高-4	特別支援 教育	教養 LMO IJM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	発達障害等特別な教育的支援を必要とする児童生徒への具体的支援 ～事例研究を通してこれまでの指導・支援を見直そう～		○	○
			90分～120分						
高-5	特別支援 教育	教養 EFO EFM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	特別な支援を必要とする子供を支える保護者との連携・協働の在り方 ～「見守りシート」の活用の実際と校内支援体制づくり～			○
			90分～120分						
高-6	特別支援 教育	教養 FLO FJM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	地域における障害のある幼児児童生徒の支援体制の構築 ～センターの機能や特別支援教育コーディネーター連絡協議会の充実を目指して～			○
			90分～120分						
高-7	教育相談	教養 CLM CJ CM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支持的風土に包まれた望ましい人間関係づくり（児童生徒・保護者） ～教育相談技法の理解と指導を通して～		○	○
			90分						
高-8	美術	教 HLJ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	造形的な見方・考え方を働かせる美術科の授業づくり ～深い学びにつなげる授業とは！？～			○
			90分～180分						
高-9	学習評価	教 H	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	高等学校における学習評価 ～観点別学習評価の基本～			
			90分～120分						
高-10	カリキュラム・マネジメント	教 I	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	カリキュラム・マネジメントの確立に向けて ～「つながり」を意識した教育活動～			
			90分～120分						
高-11	授業改善（教科別実施）	教 HJP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	これから求められる授業の在り方 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～	○		○
			90分～180分						
高-12	音楽	教 HJP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	主体的・創造的な活動を目指す音楽科・芸術科（音楽）の授業の在り方 ～育成する資質・能力を明確にした授業の実践～	○		○
			90分～150分						
高-13	キャリア教育	教 N	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	キャリア教育 ～「キャリア教育をどう進めればいいのか？」という声に応えます～			
			90分～120分						



## 【特別支援学校】

依頼元の御要望で、以下の対応が可能です。

### ICT 活用

教科等の中で1人1台端末を効果的に活用した内容への対応

### 対面実施

研修会場で教育センター所員が講座に対応

### 研究援助との組合せ

研修効果を高めるために継続的な支援が必要な場合、研究援助と組み合わせた複数回実施

※所要時間については目安を示しています。詳しくは御相談ください。

番号	分野	関連する指標	講義	研究協議	演習	内容	ICT活用	対面実施	研究援助との組合せ
			時間の目安						
特-1	特別支援教育	教 MO	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個別の教育支援計画の作成と活用			○
			90分～120分			～具体的な作成の方法と効果的な活用の仕方を中心に～			
特-2	特別支援教育	教 IMO	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自立活動の指導の在り方			○
			90分～120分			～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を中心に～			
特-3	特別支援教育	教 HIJ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	特別支援学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善			○
			90分～120分			～具体的な実践から授業改善の在り方を考える～			
特-4	特別支援教育	教 FLO 養 FJM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	地域における障害のある幼児児童生徒の支援体制の構築			○
			90分～120分			～センター的機能や特別支援教育コーディネーター連絡協議会の充実を目指して～			
特-5	特別支援教育	教 IJOP	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	特別支援学校におけるICT活用	○		○
			90分～120分			～児童生徒の困難の改善・克服に向けたICTの効果的な活用を考える～			
特-6	教育相談	教 CLM 養 CJ 栄 CM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支持的風土に包まれた望ましい人間関係づくり（児童生徒・保護者）		○	○
			90分			～教育相談技法の理解と指導を通して～			
特-7	道徳科	教 HJK	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	「特別の教科 道徳」の授業づくり		○	○
			90分			～授業研究を通して、子どもが考え、伝え合う授業をめざす～			
特-8	キャリア教育	教 N	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	キャリア教育			
			90分～120分			～「キャリア教育をどう進めればいいのか？」という声に応えます～			

## オンライン研修用チェックリスト

学校・団体名 ( )  
職・氏名 ( )  
連絡先 ( )

以下の(1)または(2)の内容について、御回答ください。

(1) 1人1台端末による研修を希望する場合は、次の質問に御回答ください。(○または×のいずれかを残してください。)

- (○・×) カメラ付き端末(パソコン、タブレット)が、受講者全員分揃っている。
- (○・×) ヘッドセットまたはマイク機能付きイヤホン(デスクトップの場合)が、研修で使用する端末の台数分揃っている。
- (○・×) 研修で使用する端末を一斉にインターネットに接続しても十分な速度を確保できる。
- (○・×) 事前のリモート接続テストや機器の不具合などのトラブルに対応できる職員がいる。

### 【ビデオ会議用アプリケーションについて】

- (○・×) Microsoft Teams での接続を希望する。
- (○・×) Google Meet での接続を希望する。
- (○・×) Webex Meetings での接続を希望する。

(2) 大型TVやスクリーンでの研修(集合型)を希望する場合は、次の質問に御回答ください。(○または×のいずれかを残してください。)

- (○・×) インターネット回線が整っている。
- (○・×) 端末(パソコン)、カメラ(外付け)、スピーカーフォン(外付け)<sup>※1</sup>が全て揃っている。  
※1 スピーカーフォンとは、スピーカーとマイクが一体となったツールです。
- (○・×) カメラ付き端末(パソコン)、スピーカーフォン(外付け)<sup>※2</sup>が全て揃っている。  
※2 端末の前で会話をする場合は、端末内蔵マイクの使用も可
- (○・×) 大型TVまたは、スクリーン、プロジェクター、スピーカーが揃っている。
- (○・×) 機器の接続、事前のリモート接続テストや機器の不具合などのトラブルに対応できる職員がいる。

### 【ビデオ会議用アプリケーションについて】

- (○・×) オンライン研修の映像や音声を送受信する場合、Microsoft Teams を希望する。
- (○・×) オンライン研修の映像や音声を送受信する場合、Google Meet を希望する。
- (○・×) オンライン研修の映像や音声を送受信する場合、Webex Meetings を希望する。

○ その他(気になることがありましたら記入してください。)

※入力後は、県教育センター企画・次世代型研修推進課に電子メール([アドレス S403502@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:S403502@pref.nagasaki.lg.jp))で送付してください。(1は「エル」)

---

令和5年4月発行

編集・発行 長崎県教育センター

〒856-0834 大村市玖島一丁目 24-2

TEL 0957-53-1186 (企画・次世代型研修推進課)

---